

## 西海市水産教室 12月15日(火)

今年度はコロナの影響もあり、開催が危ぶまれていた西海市水産教室でしたが、地元の漁師の方々、西海市役所、県央水産普及指導センターの職員の皆様のご尽力のおかげで、無事に開催することができました。関わっていただいた全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。



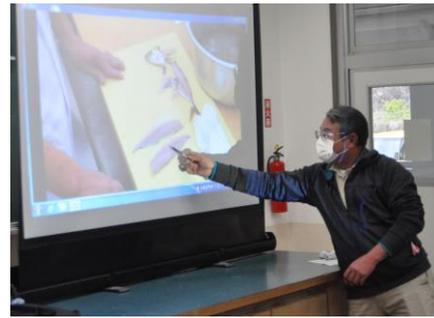
高校1年生を対象に実施していただきましたが、今年は調理実習ができず、包丁などにも慣れていない生徒が多かった上に、コロナ対策ということで調理台1台に2名という制限の中での実習でした。例年とは違う環境の中でしたが、様々な工夫を凝らし、生徒たちも楽しく実習をすることができ、新鮮でおいしい西海市のお魚を堪能することができました。

地元の食材(アジ、ブリ、ヒラメ、イセエビ)を使った西海丼とイセエビのおい

しいだしがたくさんでいるみそ汁をお腹一杯いただきました。また地元の漁師の方々との交流や西海市の漁業のことについて学ぶこともでき、貴重な体験ができた1日でした。

今回の教室も地元の皆さんのサポートのおかげで開催できました。感謝の気持ちをしっかり持ち、この素晴らしい食文化が地元にあるということを、誇りとできる生徒に育ててほしいと思います。

地元の皆さんののおかげで、このような貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。



## 冬休み中の生活について

生徒指導部

冬休みは、年末・年始の諸行事を通して家族や地域の方々とのふれあいを深める絶好の機会ですが、生活のリズムが乱れやすくなる時期です。病気や事故等のない充実した冬休みにしてください。次にあげる項目については、特に注意をお願いします。

- ①午後8時以降の外出はしないこと(初詣等、年末年始の特別な催し物については、保護者同伴で)。
- ②外泊は親しい間でも絶対にしないこと。
- ③携帯電話やスマートフォンの使用については、LINEなどを通して、ネット上の被害者にも加害者にもならないよう、その取り扱いとマナーに細心の注意を払うこと。午後9時以降は個人の時間です。
- ④自転車に乗るときは交通ルールを守り、交通規定(並列走行、無灯火、スピードの出し過ぎ等の禁止)を遵守すること。
- ⑤無届けアルバイトを絶対にしないこと。

## 12月~1月の行事予定

◆2020年12月◆

25(金)28(月)

冬季補習(3年)・強化学習会(1、2年)

◆2021年1月◆

8(金) 始業式、大掃除、容儀指導、学年集会、

⑤・⑥授業、セブ試験激励会(3年)

14(木) 百人一首大会(1・2年生)

16(土)17(日) 大学入学共通テスト

22(金)~28(木) : 学年末考査(3年)

23(土) 進研総合学力テスト(1、2年)・就公模試(2年)

24(日) 全商簿記実務検定

22(金)~28(木) : 学年末考査(3年)

27(水)~28(木) : 修学旅行(2年) 予定

29(金) テスト返却・学年集会・容儀指導(3年)

31(日) 全商情報処理検定

## 進路状況速報 ~進路指導部より~

現在40名の進路が決定しています。内訳は、進学が21名(4年制大学11名・専門学校10名)。就職が19名(県内8名・県外8名・公務員3名)です。また県内就職者8名のうち西海市は7名、佐世保市が1名です。

進路が決定した人は、12月から自動車学校の通学が可能になります。また3月には入社や入学も控えるなど、次のステップが待っています。この冬休みは、これから社会に出るための準備をしっかりとしておきましょう。

今年から始まる大学入学共通テストは、1月16日(土)・17日(日)に長崎国際大学で受験します。内定待ちの人やこれから受験も控えている人もいます。全員の進路が決定するまで学校全体で支えあっていきましょう。



## 2学期を振り返って～各学年主任より～



### 1学年主任 牟田拓朗

高校生になって9カ月が経ちました。学校生活にはもう慣れましたか。想像していた以上に忙しさを感じている人も多いかと思います。「部活」「勉強」「人間関係」は高校生活をより充実したものにするための基本の要素だと思っています。特に、勉強と部活の両立には苦戦している人が多いのではないのでしょうか。心身ともにきつい時、人はついつい言い訳を試みたり、弱音を吐いたりします。うまくいかないことがあったとしてもそれは悪いことではありません。それだけ一生懸命に取り組んできたという証拠ですから。大切なのは、ともに励まし合い、切磋琢磨できる仲間がいるかどうかということです。人はどうしても、一人だと80%の力しか発揮することができないものです。仲間とともに頑張れる環境があると、120%の力を発揮できることもあります。今は、自分の事で精一杯かもしれませんが、高校生活の残り2年と少しで33名の69回生が最高の仲間といえるような学年になれるように願っています。先生たちも精一杯サポートしていきますので、ともに成長していきましょう。

### 「力を発揮する」 2学年主任 山口直美

年末を迎える今も全国で感染症の第3波の広がりニュースを耳にする中で、毎日学校に登校し、普通に生活ができる今の大崎高校の日常は、とても有難いと思います。

さて、野球部の諸君、九州大会優勝おめでとう。寝食を共にしている野球部員の日頃の練習の成果が発揮されました。甲子園出場が発表される日を待ち遠しく思います。

試験・試合の本番で力を発揮することは、難しいことです。緊張に襲われ、頭は真っ白・気づいたら大事なその場は終わっていた。という経験は誰にもあるでしょう。「成果・結果」はどうしたら出せるのか。「自信」がない時は集中力を欠き、ミスが続き成果を出せないことはよくあります。では、「自信」はどうすれば手に入れられるのか。そもそも「自信」とはいったい何？メンタルトレーニングの本によると「そのことが自分は出来そうと感ずること」と書かれています。さらに自分自身をどう捉えているか「自己イメージ」がとても重要とあります。

**「結果 = 自信を持つ = 自己イメージを高める」**

あなたは、自分自身のイメージをどのようにとらえていますか。「自分は真面目だ。自分は几帳面だ。自分は飽きっぽい。等々」これらはいったい自分の中に作られたのでしょうか。日常生活の積み重ねでしょう。マイナスの言葉を出さず、プラスにつながる行動で毎日の生活を送り、勉強や練習に取り組む。きっと内側から自信が溢れてくると思います。

2年生の教室後方には今学期「力を発揮する」と大きく書いた筆字を掲示しています。年が明けると、間もなく学年が1つ上がります。生徒諸君がそれぞれの場で蓄えた力を発揮して欲しいと思います。

参考文献：福島大学名誉教授白石豊「本番に強くなる」

### 3学年主任 山口祥子

2020年は、一年前に思い描いていたものとは、まるで違う一年でした。目指していたゴールが、ある者は消え、ある者は姿を変え、進路決定という大きな決断をも迫られる高校3年生にとっては、まさに試練の1年でした。「大丈夫だろうか」と、心配するこちらを他所に、決して腐らず、投げ出さず、そして、楽しむことも忘れずに、目の前のハードルを一つ一つ越えてきた皆さん。その姿に、3年という成長の証を見る思いでした（しみじみ）。

ここで二つの四字熟語を紹介します。

「疑心暗鬼」…（意味）疑ってみれば、暗闇の中にはいるはずのない鬼が見える by『列子』

「信心暗希」…（意味）信じる心があれば、暗闇の中にも、希望が見える by山口祥子

要は、同じ環境であっても、気持ちの持ち様で、世界は違って見えるということ。2020年という逆境を乗り越えてきた皆さんなら、2021年も2022年も、この先ずっと、どんな荒波も乗り越えていけると私は信じています。

↓写真は、産休に入る宇都先生と撮った「大崎、最高～！」の一コマです。



### 人権学習

12月10日（木）のLHRで、同和問題の起原から就職差別の問題まで、各学年で設定されたテーマについて学び、私たちの身近な「人権」について考えグループで話し合いました。

#### 生徒の感想

時代によって履歴書の内容が変化していることや、昔は会社独りが考えて作っていたことを初めて知りました。国が管理しているからこそプライバシーがしっかり守られていることを知りました。意外なことが適正ではなかったりして、今まで知らなかったことを知ることができました。（3年生）

今回の人権学習を通して、被差別階級の人々が厳しい世の中を必死に生き抜いていたということを理解することができました。過去に起こってしまったことを二度と起こらないようにし、今も世界にはびこる差別を教育などによってなくしていけたらと思いました。（2年生）